

注3

大学番号：私374

[平成22年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

皇學館大学 現代日本社会学部 現代日本社会学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 皇學館
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 大学事務局学生支援部

職名・氏名 教務担当課長 ヤマムラトモヒコ
山村智彦

電話番号 0596-22-6315

(夜間) 090-9027-7879

F A X 0596-27-1704

e-mail kyomu@kogakkan-u.ac.jp

(注)1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 大学 学部

(学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「 大学 学部」

・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	
	平成 22・23 年度カリキュラム.....	5
	平成 24 年度以降カリキュラム.....	13
3	施設・設備の整備状況，経費	19
4	既設大学等の状況	21
5	教員組織の状況	23
6	留意事項に対する履行状況等.....	35
7	その他全般的事項	36

《参考》皇學館大学教育開発センター規程

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 皇學館

(2) 大学名

皇學館大学

(3) 大学の位置

〒516-8555
三重県伊勢市神田久志本町1704番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サコ カズキヨ) 佐古 一 洌 (平成20年8月)		
学 長	(バン イソシロウ) 伴 五十嗣郎 (平成15年4月)	(シミズ キヨシ) 清 水 潔 (平成23年4月)	任期満了により改選 平成23年4月1日 (23)
学部長	(ミヤカワ ヤスオ) 宮 川 泰 夫 (平成22年4月)		
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成23年度に報告済の内容 (23)

平成25年度に報告する内容 (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は，平成22年度開設の4年制の学科の場合（平成25年度までの4年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）

(5) - 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代日本社会学部 現代日本社会学科 学士（現代日本社会学）	4年	100人	- 年次人	400人	

- (注)・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	1.10倍 合格者数に第2志望合格者を含む	
志願者数	204 (-) [-]	- (-) [-]	263 (-) [-]	- (-) [-]	201 (-) [-]	- (-) [-]	245 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	203 (-) [-]	- (-) [-]	259 (-) [-]	- (-) [-]	197 (-) [-]	- (-) [-]	245 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	194 (-) [-]	- (-) [-]	227 (-) [-]	- (-) [-]	198 (-) [-]	- (-) [-]	226 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	97 (-) [-]	- (-) [-]	128 (-) [-]	- (-) [-]	94 (-) [-]	- (-) [-]	123 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B / A	0.97		1.28		0.94		1.23			

- (注)・ 数字は，平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には，編入学の状況について**外数**で記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(())書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には，留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「-」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[-] 97	[-] -	[-] 128	[-] -	[-] 93	[-] -	[-] 123	[-] -	
2 年次	/		[-] 96	[-] -	[-] 132	[-] -	[-] 98	[-] -	
3 年次			/		/		[-] 89	[-] -	[-] 120
4 年次	/						/		[-] 88
計			[-] 97	[-] -	[-] 224	[-] -			[-] 314

- (注) ・ 数字は、平成 2 5 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成22年度 入学者	97人	4人	平成22年度	1人	0人	除籍(1人)	4.1%
			平成23年度	2人	0人	就職(1人) 家庭の事情(1人)	
			平成24年度	1人	0人	学生個人の心身に関する事情(1人)	
			平成25年度	人	0人		
平成23年度 入学者	128人	6人	平成23年度	1人	0人	家庭の事情(1人)	4.7%
			平成24年度	5人	0人	除籍(1人) 就職(1人) その他(1人) 学生個人の心身に関する事情(1人) 他の教育機関への転学(1人)	
			平成25年度	人	0人		
平成24年度 入学者	94人	3人	平成24年度	3人	0人	学生個人の心身に関する事情(1人) 就学意欲の低下(1人) 就職(1人)	3.2%
			平成25年度	人	0人		
平成25年度 入学者	123人	0人	平成25年度	人	0人		0.0%
合計	442人	13人					2.9%

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。〔途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。〕
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、〔当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計〕を、〔当該対象年度の入学者数〕で除した割合（％）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（人）」というように、その人数も含めて記入してください。
 （記入項目例）・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

< 現代日本社会学部 現代日本社会学科 >

(1) 授業科目表 (平成22・23年度入学生対象カリキュラム)

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
共通科目(全学共通)	皇学	皇学	1前	2			1						兼 15			
		伊勢学	1後	2									兼 12			
	総合基礎	初学び(入門演習)	1前集		1										文学部・教育学部用	
		キャンパス・セミナー	1前	2				10	6						現代日本社会学部用 教育課程充実のため教員を追加(22) 担当 新田 均(教授) 筒井琢磨(教授) 山路克文(教授) 岩崎正弥(准教授) 昨年度記載漏れ 学舎統合に伴い担当教員を変更(23) 削除 筒井琢磨(教授) 岩崎正弥(准教授) 担当 山中 優(教授) 関根 薫(准教授) 建部久美子(准教授) 教育課程充実のため担当教員を追加(24) 担当 鶴沼憲晴(教授) 笠原正嗣(教授) 筒井琢磨(教授) 富永 健(教授) 守本友美(教授) 板井正斉(准教授) 岩崎正彌(准教授) 榎本悠孝(准教授) 野尻京子(准教授) 藤井恭子(准教授) 建部久美子准教授が教授に昇格(25)	
								9	7							
								4	2							
								1	1							
		文章入門	1前	2				1	1						教育課程充実のため教員を追加(22) 担当 岩崎正弥(准教授) 担当科目数の調整のため担当教員を変更(24) 担当 板井正斉(准教授)	
		文章応用	1後		2			1							現代日本社会学部用 専任教員の担当科目数の調整のため担当教員を変更(24) 担当 兼任講師	
		古文	1前		1			4						兼 2	教育課程充実のため教員を追加(22) 担当 橋本雅之(教授)	
		古文	1後		1			4						兼 2	専任教員の担当科目数の調整のため担当教員を変更(24) 担当 兼任講師 教育課程充実のため教員を追加(22) 担当 橋本雅之(教授)	
		漢文	1前		1									兼 3		
		漢文	1後		1									兼 3		
		総合演習	2前・後		2											山中優准教授が教授に昇格(23) 23年度報告の記載ものを修正(24) 履修者数減少により開講クラス数を削減(25) 削除 山中 優(教授)
			情報処理(基礎)	1前		1									兼 1	
			情報処理(応用)	1後		1									兼 5	
			情報処理(ネットワーク)	2前		1									兼 1	
	情報処理(プログラミング)	2後		1									兼 1			
外国語	英語基礎	1前		1									兼 10			
	英語基礎	1後		1									兼 10			
	英語コミュニケーション	1前		1									兼 12			
	英語コミュニケーション	1後		1									兼 12			
	英語総合	2前		1									兼 1			
	英語総合	2後		1									兼 1			

	英語資格対策	2前	1					兼	2	
	英語資格対策	2後	1					兼	2	
	英会話	2前	1					兼	1	
	英会話	2後	1					兼	1	
	英語資格 A	1後	2					兼	1	
	英語資格 B	1後	2					兼	1	
	英語資格 C	1後	2					兼	1	
	ドイツ語	1前	1					兼	1	
	ドイツ語	1後	1					兼	1	
	ドイツ語	1前	1					兼	1	
	ドイツ語	1後	1					兼	1	
	フランス語	不開講 -4前-	1					兼	1	履修希望者がいなかったため(25)
	フランス語	不開講 -4後-	1					兼	1	履修希望者がいなかったため(25)
	フランス語	不開講 -4前-	1					兼	1	履修希望者がいなかったため(25)
	フランス語	不開講 -4後-	1					兼	1	履修希望者がいなかったため(25)
	ポルトガル語	1前	1					兼	1	
	ポルトガル語	1後	1					兼	1	
	ポルトガル語	1前	1					兼	1	
	ポルトガル語	1後	1					兼	1	
	中国語	1前	1					兼	1	
	中国語	1後	1					兼	1	
	中国語	1前	1					兼	1	
	中国語	1後	1					兼	1	
	外国語	1後	2					兼	1	
	外国語	1後	2					兼	1	
	日本文化と世界					1				
	神道	1後	2			1		兼	2	教育課程充実のため教員を追加(23) 担当 板井正音(准教授) 23年度の報告漏れを修正(24)
	哲学	1後	2					兼	1	
	言語学	1後	2					兼	1	
	日本の歴史	1後	2					兼	1	
	日本の文学	1後	2					兼	1	
	日本の思想	1後	2					兼	1	
	日本の民俗	1後	2			1		兼	1	教育課程充実のため専任に変更(25) 担当 板井正音(准教授)
	世界の歴史	1後	2					兼	1	
	世界の思想	1後	2					兼	1	
共通科目(全学共通)	現代と生活									
	法学(日本国憲法)	2前	2		1					
	政治学入門	1前	2		1	-1-				山中優准教授が教授に昇格(23) 23年度の報告漏れを修正(24)
	経済学入門	1前	2					兼	1	
	社会学入門	1前	2					兼	1	
	統計学入門	1後 -4前-	2					兼	1	担当講師のやむを得ない理由により配当 学期を変更(24)
	心理学入門	1前 -4後- -4前-	2					兼	1	担当講師のやむを得ない理由により平成 23年度は配当学期を変更(23) 平成24年度も配当学期変更を継続(24) 事情解消により、当初の学期に修正 (25)
	現代と福祉	1前	2				1			担当者(上野文枝助教)の移籍(25)
	現代と健康	1後 -4前-	2					兼	1	担当講師のやむを得ない理由により平成 23年度は配当学期を変更(23) 平成24年度も配当学期変更を継続(24)
	現代と教育	1前	2					兼	1	
	現代の課題	1前	1					兼	10	
	人権論	2前	2					兼	1	

自然と科学	数学	1前		2						兼	1		
	生物学	1前		2						兼	1		
	化学	1前		2						兼	1		
	物理学	1前		2						兼	1		
	天文学	1前		2						兼	1		
	環境地理学	1前		2						兼	1		
	自然地理学	1前		2						兼	1		
	自然科学史	1前		2						兼	1		
	伝統の心と技	武道	1前		1						兼	5	
		武道	1後		1						兼	5	
		武道	2前		1						兼	1	
		武道	2後		1						兼	1	
書道		2前		1						兼	3		
書道		2後		1						兼	3		
伝統の心と技 1		1前・後		2						兼	1		
伝統の心と技 2		1前・後		2						兼	4		
伝統の心と技 3		1前・後		2						兼	2		
伝統の心と技 4		1前・後		2			1						
伝統の心と技 5		1前 1後		2						兼	1	担当講師のやむを得ない理由により平成23年度は配当学期を変更(23) 平成24年度も配当学期変更を継続(24)	
伝統の心と技 6		1前・後		2			1						
伝統の心と技 7	1後		2						兼	1			
伝統の心と技 8	1前・後		2						兼	1			
伝統の心と技 9	1後		2						兼	2			
伝統の心と技10	未開講 1後		2						兼	1	科目にて参加を義務付けていた行事が平成23年度以降は開催されなくなったため(23)		
伝統の心と技11	不開講 1前・後		2						兼	1	履修希望者がいなかったため(25)		
伝統の心と技12	1前・後		2						兼	1	教育課程充実のため開講クラスを追加(22) 担当講師のやむを得ない理由により平成23年度は配当学期を変更(23) 平成24年度も配当学期変更を継続(24)		
人生と仕事	人生と仕事	2後 2前 2後 2前		1			1			兼	1	担当者変更(25) 削除 兼任教員 担当 笠原正嗣(教授) 教育効果向上のため配当学期を変更(25) 事情解消により、当初の学期に修正(24) 担当教員のやむを得ない理由により平成23年度は配当学期を変更(23)	
	ビジネス実践論	不開講 2後		1						兼	7	履修希望者がいなかったため(25)	
	生涯学習概論	3後 3前		2						兼	1	担当教員のやむを得ない理由により配当学期を変更(24)	
	インターンシップ	2前		1			1			兼	1	担当者変更(23) 報告漏れ 削除 兼任教員 担当 笠原正嗣(教授)	
	ボランティア	2前		1						兼	2		
	ボランティア	未開講 2後		1						兼	1	科目内容の見直し検討中のため(23)	
専門科目	基礎科目	現代日本総論	1前	2			5						
		日本人物論	1後	2			2	1				教育課程充実のため教員を追加(22) 担当 岩崎正弥(准教授)	
		日本国家論	1後	2			1						
	基幹科目	日本文化論	2前		2			1					
		日本文学論	2前		2			1					
	日本歴史論	2前 2後		2						兼	1	担当教員のやむを得ない理由により配当学期を変更(24)	
	日本民俗論	2後		2			1		-1-			移籍前の学部にて板井正吾講師が 准教授に昇格(22)	

現代の社会	社会学概論	1後		2		1	1						笠原正嗣准教授が教授に昇格(23)		
	現代社会論	2前		2			1								
	現代人権論	2前		2		1									
	社会保障論	2前		4							兼	1			
	現代憲法論	2後		2		1									
生活と福祉	社会福祉原論	1後		4		1									
	福祉政策論	2後		2		1									
	地域福祉論	3前		4		1									
展開科目 日本の文化	日本建築論	2前		2			1								
	日本倫理思想史	2前		2						兼	1				
	日本工芸論	2後		2			1								
	地域文化論	2後		2						兼	1				
	日本礼法論	3前		2			1								
	日本芸能論	3前		2			1						担当者を専任に変更(24) 担当 岩崎正彌(准教授)		
	日本神話論	3後		2		1									
	神道概説	3後		2			1	1					移籍前の学部にて板井正吉講師が 准教授に昇格(22)		
	武士道論	3後		2						兼	1				
	日本宗教概説	4前		2						兼	1				
現代の社会	地域社会論	1後		2									兼	1	
	心理学	1後		2									兼	1	
	医学概論	2前		2			1							担当者を専任に変更(23) 担当 野尻京子(准教授)	
	政治社会学	2前		2		1	1							山中優准教授が教授に昇格(23)	
	地域情報論	2前		2							兼	1			
	社会情報学	2前		2		1									
	精神医学	2前	不 開 講	4									兼	1	履修希望者がいなかったため(25)
	精神保健学	2前		4									兼	1	
	国土構造論	2前		2		1									
	地域構造論	2前		2		1									
	国土計画論	2後		2		1									
	地域計画論	2後		2		1									
	社会調査法	2後		2		1									
	社会情報分析	2後		2			1								
	教育社会学	2後		2			1								
	家族社会学	2後		2			1								
	産業社会学	3前		2		1	1							笠原正嗣准教授が教授に昇格(23)	
	社会統計学 (基礎統計)	3前		2			1								
	産業革新論	3前		2		1									
	文明開化論	3後		2		1									
質的調査論	3後		2		1										
社会統計学 (多変量解析)	3後		2			1									
観光社会学	3後		2		1	1							笠原正嗣准教授が教授に昇格(23)		
医療社会学	3後		2		1										
生活と福祉	社会福祉援助技術論 (専門職制度)	1後		4									兼	1	
	社会福祉援助技術論 (理論)	2前		4		1									
	介護概論	2前		2			1								
	児童・家庭福祉論	2前		2								1		担当(上野文枝助教)の移籍(25)	
	精神保健福祉論 (援助理念)	2前		2			1								
	精神保健福祉援助技術総論	2前		4			1								
	社会福祉援助技術論 (実践)	2後		4		1	1							建部久美子准教授が教授に昇格(25)	
	障害者福祉論	2後		2		1	1							建部久美子准教授が教授に昇格(25)	
	公的扶助論	2後		2								1		担当(上野文枝助教)の移籍(25)	
	社会福祉発達史	2後		2									兼	1	
	高齢者福祉サービス論	2後		2		1	1							移籍前の学部にて鶴沼恵晴准教授が教授 に昇格(22)	
	精神保健福祉援助技術各 論 (援助活動)	2後		2			1								

	リハビリテーション論	2後	2						兼 1	
	精神保健福祉論 (施策と業務)	2後	2		1					
	発達と老化	2後	2		1	-1				教育職員免許法施行規則改正の理由により科目を追加(23) 担当 建部久美子(准教授) 建部久美子准教授が教授に昇格(25)
	医療福祉論	3前	2						兼 1	
	精神保健福祉論 (制度とサービス)	3前	2		1					
	精神保健福祉援助技術各論 (ケアマネジメント)	3前	2		1					
	精神科リハビリテーション論	3前	2						兼 1	
	神道福祉論	4前	2		1		4			移籍前の学部にて板井正音講師が准教授に昇格(22)
発展科目	日本経済論	2前	2						兼 1	
	日本政治論	2前	2		1		4			山中優准教授が教授に昇格(23)
	経済政策論	2後	2						兼 1	
	日本マスコミ論	2後	2						兼 1	
	産業観光論	2後	2						兼 1	教育課程充実の理由により科目を追加(23) 担当 兼任講師
	日本外交論	3前	2						兼 1	
	農業政策論	3前	2						兼 1	
	近代神道論	3前	2		1					
	公共政策論	3前	2						兼 1	
	地方自治論	3前	2		1					
	コミュニティビジネス論	3後 3前	2						兼 1	担当教員のやむを得ない理由により配当学期を変更(25)
	起業論	3前	2						兼 1	
	地方財政論	3後	2		1				兼 1	
	政教問題論	3後	2		1					
	国際政治論	3後	2						兼 1	
	サブカルチャー論	3後	2		1					
	文化政策論	3後	2			1				
	雇用政策	2後	1		1		4			笠原正嗣准教授が教授に昇格(23)
	スクールソーシャルワーク論	3後	2					1		担当者(上野文枝助教)の移籍(25)
	権利擁護と成年後見制度	3後	2		1					担当者を専任に変更(23) 担当 鶴沼憲晴(教授)
福祉行財政と福祉計画	4前	2		1					担当者を専任に変更(25) 担当 山路克文(教授)	
社会福祉経営論	4前	2		1						
司法福祉論	4前	1		1						
実習科目	文化継承実習	2前	1						兼 7	
	産業社会実習	2通	4		2	1				教授欄の記載漏れを修正(23) 科目充実のため担当者を追加(23) 担当 岩崎正彌(准教授)
	文化継承実習	2後	1						兼 7	
	文化継承実習	3前	1						兼 7	
	社会調査実習	3通	2			2				准教授欄の記載漏れを修正(23)
	社会福祉援助技術現場実習	3通	4			1 2 3		1		科目充実のため担当者の追加(25) 担当 上野文枝(助教) 建部久美子准教授が教授に昇格(25) 移籍前の学部にて鶴沼憲晴准教授が教授に昇格(22)
	社会福祉援助技術現場実習指導(事前指導)	3通	2		2 1 3	1 2 3		1		担当者(上野文枝助教)の移籍(25) 建部久美子准教授が教授に昇格(25) 移籍前の学部にて鶴沼憲晴准教授が教授に昇格(22)
	社会福祉援助技術現場実習指導(事後指導)	3通	1		2 1 3	1 2 3		1		担当者(上野文枝助教)の移籍(25) 建部久美子准教授が教授に昇格(25) 移籍前の学部にて鶴沼憲晴准教授が教授に昇格(22)
	精神保健福祉援助実習	3通	6			1				

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 10	科目 201	科目 0	科目 211	科目 10 [0]	科目 203 [2]	科目 0 [0]	科目 213 [2]	教育課程充実及び教育職員免許法施行規則改正に伴う科目追加

(注)・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	ボランティア	1	2後	一般	選択	平成22年度から開講予定の認定科目であったが、内容の再検討が必要となり、未開講とした。
2	伝統の心と技10	2	1後	一般	選択	科目にて参加を義務付けていた行事が平成23年度以降は開催されなくなったため、平成23年度以降は未開講とした。

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【大学の所見】 「ボランティア」及び「伝統の心と技10」の未開講又は不開講について、他に十分な選択科目を開講していることや、既に学生の理解を得ていることから、学生への影響はないと考えている。</p> <p>【学生への周知方法】 履修要項に不開講を明記するとともに、履修指導時にも事情を説明し、学生からの理解を得ている。</p>
--

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

< 現代日本社会学部 現代日本社会学科 >

(1) 授業科目表 (平成24年度以降入学生対象カリキュラム)

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通科目(全学共通)	皇学	皇学	1前	2			1						兼 15		
		伊勢学	1後	2									兼 12		
	総合基礎	初学び(入門演習)	1前集		1										文学部・教育学部用
		キャンパス・セミナー	1前	2				10	6						建部久美子准教授が教授に昇格(25)
			文章入門	1前	2				9	7					現代日本社会学部用
		文章応用	1後		2			1						現代日本社会学部用	
		古文	1前		1									兼 2	
			1後		1									兼 2	
		漢文	1前		1									兼 3	
			1後		1									兼 3	
		総合演習	2前・後		2			1	2					兼 1	履修者数減少により開講クラス数を削減(25) 削除 山中 優(教授)
		情報処理(基礎)	1前		1									兼 5	
		情報処理(応用)	1後		1									兼 5	
		情報処理(ネットワーク)	2前		1									兼 1	
		情報処理(ブ'ロ'ミング)	2後		1									兼 1	
		外国語	英語基礎	1前		1									兼 10
	英語基礎		1後		1									兼 10	
	英語コミュニケーション		1前		1									兼 12	
	英語コミュニケーション		1後		1									兼 12	
	英語総合		2前		1									兼 1	
	英語総合		2後		1									兼 1	
	英語資格対策		2前		1									兼 2	
	英語資格対策		2後		1									兼 2	
	英会話		2前		1									兼 1	
	英会話		2後		1									兼 1	
	英語資格A		1後		2									兼 1	
	英語資格B		1後		2									兼 1	
英語資格C	1後			2									兼 1		
ドイツ語	1前			1									兼 1		
ドイツ語	1後			1									兼 1		
ドイツ語	1前			1									兼 1		
ドイツ語	1後			1									兼 1		
フランス語	不開講 -1前-			1									兼 1	履修希望者がいなかったため(25)	
フランス語	不開講 -1後-			1									兼 1	履修希望者がいなかったため(25)	
フランス語	不開講 -1前-			1									兼 1	履修希望者がいなかったため(25)	
フランス語	不開講 -1後-			1									兼 1	履修希望者がいなかったため(25)	
ポルトガル語	1前			1									兼 1		
ポルトガル語	1後			1									兼 1		
ポルトガル語	1前			1									兼 1		
ポルトガル語	1後			1									兼 1		
中国語	1前			1									兼 1		
中国語	1後			1									兼 1		
中国語	1前		1									兼 1			
中国語	1後		1									兼 1			
外国語	1後		2									兼 1			
外国語	1後		2									兼 1			

専門科目	基礎科目	現代日本総論	1前	2			5															
		日本人物論	1後	2			2	1														
		日本国家論	1後	2			1															
	基幹科目	日本の文化	日本文化論	2前		2		1														
			日本文学論	2前		2		1														
			日本歴史論	2前			2															
			日本民俗論	2後			2															
	現代の社会	社会学概論	1後		2			1														
		現代社会論	2前		2				1													
		現代人権論	2前		2			1														
		社会保障論	2前		4																	
		現代憲法論	2後		2			1														
	生活と福祉	社会福祉原論	1後		4			1														
		福祉政策論	2後		2			1														
		地域福祉論	3前		4			1														
	展開科目	日本の文化	日本建築論	2前		2																
			日本倫理思想史	2前		2																
			日本工芸論	2後		2				1												
			地域文化論	2後		2																
日本礼法論			3前		2				1													
日本芸能論			3前		2				1													
日本神話論			3後		2			1														
神道概説			3後		2				1													
武士道論			3後		2																	
日本宗教概説			4前		2																	
現代の社会	地域社会論	1後		2																		
	心理学	1後		2																		
	医学概論	2前		2				1														
	政治社会学	2前		2			1															
	地域情報論	2前		2																		
	社会情報学	2前		2			1															
	精神医学	2前		4																		
	精神保健学	2前		4																		
	国土構造論	2前		2			1															
	地域構造論	2前		2			1															
	国土計画論	2後		2			1															
	地域計画論	2後		2			1															
	社会調査法	2後		2			1															
	社会情報分析	2後		2				1														
	教育社会学	2後		2					1													
	家族社会学	2後		2					1													
	産業社会学	3前		2			1															
	社会統計学 (基礎統計)	3前		2				1														
	産業革新論	3前		2			1															
	文明開化論	3後		2			1															
質的調査論	3後		2			1																
社会統計学 (多変量解析)	3後		2				1															
観光社会学	3後		2			1																
医療社会学	3後		2			1																
生活と福祉	社会福祉援助技術論 (専門職制度)	1後		4																		
	社会福祉援助技術論 (理論)	2前		4			1															
	介護概論	2前		2					1													
	児童・家庭福祉論	2前		2																		
	精神保健福祉論 (援助理念)	3前		2					1													
	精神保健福祉援助技術総論	3前		2					1													
	社会福祉援助技術論 (実践)	2後		4			1															
	障害者福祉論	2後		2			1															
	公的扶助論	2後		2																		
	社会福祉発達史	2後		2																		
	高齢者福祉サービス論	2後		2			1															
	精神保健福祉援助技術各論 (援助活動)	3後		2					1													

演習科目												
現代日本演習	2通	4			7	2					1	担当者の一部変更と数値の誤りの訂正 (25) 担当 上野文枝(助教) 削除 榎本悠孝(准教授)
社会福祉援助技術演習 (コミュニケーションスキル)	2後		2		3							
社会福祉援助技術演習 (相談援助のプロセス)	3前		2		3							
精神保健福祉援助演習 (専門)	4通		2			1						
現代日本演習	3通	4			10	6						建部久美子准教授が教授に昇格(25)
社会福祉援助技術演習 (相談援助の実際)	3後		1		3							
スクールソーシャルワーク演習	4前		2								1	担当者(上野文枝助教)の移籍(25)
課題研究演習(卒業研究)	4通	4			9	7						

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼任の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成 年 月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	学部認可時と比較し、教育課程充実、教育職員免許法施行規則及び精神保健福祉法の改正に伴い科目を変更
10	201	0	211	10	206	0	216	
				[0]	[5]	[0]	[5]	

- (注) ・ 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, []内に, 届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: - 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	ボランティア	1	2後	一般	選択	平成22年度から開講予定の認定科目であったが、内容の再検討が必要となり、未開講とした。
2	伝統の心と技10	2	1後	一般	選択	科目にて参加を義務付けていた行事が平成23年度以降は開催されなくなったため、平成23年度以降は未開講とした。

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【大学の所見】 「ボランティア」及び「伝統の心と技10」の未開講又は不開講について、他に十分な選択科目を開講していることや、既に学生の理解を得ていることから、学生への影響はないと考えている。</p> <p>【学生への周知方法】 履修要項に不開講を明記するとともに、履修指導時にも事情を説明し、学生からの理解を得ている。</p>
--

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	伊勢キャンパス (78,052㎡) 名張キャンパス (45,048㎡) 平成23年3月31日を もって名張キャンパス校地 を名張市に返還し、伊 勢キャンパスへ統合 キャンパス統合により名張 キャンパスを閉鎖(23)		
	校舎敷地	59,059 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	59,059 ㎡			
	運動場用地	15,013 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	15,013 ㎡			
	小 計	74,072 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	74,072 ㎡			
	そ の 他	3,980 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,980 ㎡			
	合 計	78,052 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	78,052 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	31,272 ㎡ 31,495 ㎡ 31,074 ㎡ (34,436 ㎡)	共 用 0 ㎡ (0 ㎡)	共用する他の 学校等の専用 0 ㎡ (0 ㎡)	計 31,272 ㎡ 31,495 ㎡ 31,074 ㎡ (34,436 ㎡)	伊勢キャンパス 開設時 (23,006㎡) 完成年度 新1号館を含む 32,495 (31,074㎡) 新1号館建設計画の 一部変更(23) 名張キャンパス (41,430㎡) 平成23年3月31日を もって名張キャンパス校舎 を名張市に返還し、伊 勢キャンパスへ統合(23) 1号館解体、9号館増築 (24)		
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
(3) 教 室 等	31室 30室 34室 40室	30室 24室 33室	31室 34室 32室 49室	3室 (補助職員 人)	1室 (補助職員 人)	大学全体 キャンパス統合による変更 (23) 1号館解体、9号館増 築、教室仕様変更 (24) 教室仕様一部変更 (25)		
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数			
		現代日本社会学部 現代日本社会学科		18 17 室		移籍教員1名分を加算 (25)		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 (うち外国書) 冊	学術雑誌 (うち外国書) 種	電子ジャーナル (うち外国書)	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体 図書一冊 373,039(29,954) (339,570(28,834)) 学術雑誌一種 5,032(93) (5,032(93)) 視聴覚資料一点 2,748 (2,508) 名張キャンパスを名張市に 返還し、伊勢学舎へ統 合のため(23)
	現代日本社会 学部	76,198 [9,745] (334,523 [28,878]) (328,383 [28,625]) (326,181 [28,198]) (71,805 [9,023]) (71,023 [9,145])	737 [54] (5,963 [162]) (6,008 [148]) (5,916 [146]) (737 [54])	0 [0] (17 [17]) (0 [0])	1,361 (4,774) (4,611) (4,427) (1,308) (1,161)	0 (0)	0 (0)	
	計	76,198 [9,745] (334,523 [28,878]) (328,383 [28,625]) (326,181 [28,198]) (71,805 [9,023]) (71,023 [9,145])	737 [54] (5,963 [162]) (6,008 [148]) (5,916 [146]) (737 [54])	0 [0] (17 [17]) (0 [0])	1,361 (4,774) (4,611) (4,427) (1,308) (1,161)	0 (0)	0 (0)	
	(6) 図 書 館	面 積	4,244 4,058 ㎡	閱 覧 座 席 数	361 —313	収 納 可 能 冊 数	567,111 545,000 冊	
(7) 体 育 館	面 積	5,407 5,364 ㎡	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
			弓 道 場	198 ㎡	武 道 場	210 ㎡		

(8)	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体
		教員 1 人当り研究費等	440千円	440千円	図書購入費	2,125千円 2,566千円	3,409千円 2,400千円 2,566千円	3,000千円 3,200千円 8,000千円 10,645千円	
共同研究費等	98千円 456千円	2,214千円 1,704千円 720千円 645千円	設備購入費	2,520千円 855千円	1,477千円 7,277千円 855千円	71千円 1,000千円 4,800千円 3,548千円			
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等の経常費補助金、資産運用収入、雑収入等	
	1,250千円 4,325千円 4,025千円	1,025千円	1,025千円	1,025千円	- 千円	- 千円			

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	皇 學 館 大 学							備 考		
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編 入 学 員	収 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
文学部								三重県伊勢市神田 久志本町1704番地		
神道学科	4	70	-	280	学士 (文学)	1.14	昭和52年度			
国文学科	4	80	-	320	学士 (文学)	1.33	昭和37年度			
国史学科	4	80	-	320	学士 (文学)	1.26	昭和37年度			
教育学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	昭和50年度		平成20年度より学生募集 停止(教育学科)	
コミュニケーション学科	4	80	-	320	学士 (文学)	0.99	平成12年度	平成24年3月31日廃止(教 育学科)		
社会福祉学部									平成22年度より学生募集 停止(社会福祉学部)	
社会福祉学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉 学)	-	平成10年度	平成23年度より伊勢学舎 へ統合		
教育学部										
教育学科	4	210	-	828	学士 (教育学)	1.20	平成20年度			
現代日本社会学部										
現代日本社会学科	4	100	-	400	学士 (現代日本 社会学)	1.05	平成22年度			
大学院								三重県伊勢市神田 久志本町1704番地		
文学研究科										
博士後期課程										
神道学専攻	3	2	-	6	博士 (文学)	0.49	平成16年度			
国文学専攻	3	2	-	6	博士 (文学)	1.05	昭和48年度			
国史学専攻	3	2	-	6	博士 (文学)	0.71	昭和48年度			
修士・博士前期課程										
神道学専攻	2	3	-	6	修士 (文学)	0.99	平成2年度			
国文学専攻	2	5	-	10	修士 (文学)	0.90	昭和41年度			
国史学専攻	2	5	-	10	修士 (文学)	0.65	昭和41年度			
教育学専攻	2	-	-	-	修士 (文学)	-	平成16年度		平成24年度より学生募集 停止(教育学専攻)	
社会福祉学研究科										平成25年3月31日廃止(教 育学専攻)
修士課程 社会福祉学専攻	2	-	-	-	修士(社会福 祉学)	-	平成14年度		平成24年3月31日廃止(社 会福祉学研究科)	平成23年度より学生募集 停止(社会福祉学専攻)
教育学研究科										
修士課程 教育学専攻	2	8	-	16	修士 (教育学)	0.87	平成24年度	平成24年4月より文学研究 科教育学専攻を改組		

- (注)・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科)大学院(専攻)及び短期大学(学科)について, それぞれの学校種ごとに, 平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際, AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「-」とし, 「備考」に「平成
年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<現代日本社会学部 現代日本社会学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授	宮川 泰夫 ()	平成22年4月	現代日本総論 国土構造論 地域構造論 国土計画論 地域計画論 産業革新論 文明開化論					国土構造論 地域構造論 国土計画論 地域計画論 産業革新論 文明開化論	平成25年4月から、担当者再編により「現代日本総論」を削除(22)	
専	教授	橋本 雅之 ()	平成22年4月	皇学 キャンパス・セミナー 文章入門 文章応用 現代日本総論 日本文化論 日本文学論 日本神話論 ワカ加チャ論 現代日本演習 現代日本演習 課題研究演習(卒業研究)	専	准教授	板井 正斉 ()	平成25年4月	皇学	皇学	平成25年4月から、「皇学」の担当者を変更(25)
										キャンパス・セミナー 文章入門 文章応用 現代日本総論 日本文化論 日本文学論 日本神話論 ワカ加チャ論 現代日本演習 現代日本演習 課題研究演習(卒業研究)	
					兼任	講師	亀山 泰司 ()	平成24年4月	古文 古文	古文 古文	平成22年4月から、科目充実のため「古文」をセメスター分割し、担当者を追加(22)
専	教授	新田 均 ()	平成22年4月	総合演習 現代日本総論 日本人物論 日本国家論 現代人権論 近代神道論 現代日本演習 現代日本演習 課題研究演習(卒業研究)				現代日本総論 日本人物論 日本国家論 現代人権論 近代神道論 現代日本演習 現代日本演習 課題研究演習(卒業研究)	平成24年4月から「総合演習」のクラス数を削減(24)		
専	教授	富永 健 ()	平成23年4月	法学(日本国憲法) 現代憲法論 地方自治論 政教問題論 司法福祉論 現代日本演習 現代日本演習 課題研究演習(卒業研究)				キャンパス・セミナー 現代日本総論	平成22年度から科目充実のため担当者を追加(23) 昨年度記載漏れ		
専	教授	筒井 琢磨 ()	平成22年4月	現代日本総論 社会情報学 社会調査法 質的調査論 医療社会学 産業社会実習 社会臨床実習 現代日本演習 現代日本演習 課題研究演習(卒業研究)				キャンパス・セミナー	平成22年度から科目充実のため担当者を追加(23) 昨年度記載漏れ		

専	准教授	岩崎 正弥 ()	平成22年4月	伝統の心と技4 伝統の心と技6 日本建築論 日本工芸論 日本礼法論 文化政策論 現代日本演習 現代日本演習 課題研究演習(卒業研究)			岩崎 正彌	平成22年4月	キャンパス・セミナー 文章入門 日本人物論 産業社会実習	平成22年4月から、科目充実のため「キャンパス・セミナー」「文章入門」「日本人物論」の担当者を追加(22) 昨年度の記載漏れを修正
					専	准教授				板井 正斉 ()
専	准教授	笠原 正嗣 ()	平成23年4月	社会学概論 産業社会学 観光社会学 雇用政策 産業社会実習 課題研究演習(卒業研究)			教授		現代日本演習 現代日本演習 キャンパス・セミナー	平成23年4月教授に昇格(23) 平成23年4月から、科目充実のため担当者を追加(23) 科目充実のため担当者を追加(24)
兼任	准教授	笠原 正嗣 ()	平成22年4月	社会学概論						
専	准教授	関根 薫 ()	平成23年4月	現代社会論 社会情報分析 家族社会学 社会調査実習 現代日本演習 現代日本演習 課題研究演習(卒業研究)					キャンパス・セミナー	学舎統合に伴い「キャンパス・セミナー」の担当者を変更(23)
専	准教授	藤井 恭子 ()	平成23年4月	教育社会学 社会統計学(基礎統計) 社会統計学(多変量解析) 社会調査実習 社会情報実習 課題研究演習(卒業研究)					現代日本演習 キャンパス・セミナー	平成23年4月から、科目充実のため担当者を追加(23) 科目充実のため担当者を追加(24)
専	准教授	建部久美子 ()	平成23年4月	社会福祉援助技術論(実践) 障害者福祉論 社会福祉援助技術 現場実習 社会福祉援助技術 現場実習指導(事前指導) 社会福祉援助技術 現場実習指導(事後指導) 課題研究演習(卒業研究)			教授		キャンパス・セミナー 現代日本演習 発達と老化	平成25年4月 教授に昇格(25) 平成23年4月の学舎統合に伴い「キャンパス・セミナー」の担当者を変更、科目充実のため「現代日本演習」の担当者を追加(23) 平成23年4月から、教育職員免許法施行規則改正に伴い「発達と老化」を追加(23)

専	准教授	野尻 京子 ()	平成23年4月	介護概論 社会福祉援助技術 現場実習 社会福祉援助技術 現場実習指導 (事 前指導) 社会福祉援助技術 現場実習指導 (事 後指導) 課題研究演習(卒業 研究)						現代日本演習 キャンパス・セミナー	平成23年4月から、科目充実のため 「現代日本演習」の担当者を追加 (23) 平成24年4月から、科目充実のため 「キャンパス・セミナー」の担当者を追加 (24)
専	准教授	鶴沼 恵晴 ()	平成23年4月	高齢者福祉サービ ス論 社会福祉援助技術 現場実習 社会福祉援助技術 現場実習指導 (事 前指導) 社会福祉援助技術 現場実習指導 (事 後指導) 社会福祉援助技術 演習 (コミュニケーション スキル) 社会福祉援助技術 演習 (相談援助の プロセス) 社会福祉援助技術 演習 (相談援助の 実際) 課題研究演習(卒業 研究)	教授					現代日本演習 キャンパス・セミナー	平成22年4月 現任の社会福祉学部にて 昇格(22) 平成23年4月から、科目充実のため 「現代日本演習」の担当者を追加 (23) 平成24年4月から、科目充実のため 「キャンパス・セミナー」の担当者を追加 (24)
専	講師	板井 正斉 ()	平成23年4月	日本民俗論 神道概説 神道福祉論 課題研究演習(卒業 研究)	准教授					神道 現代日本演習 キャンパス・セミナー	平成22年4月 現任の社会福祉学部にて 昇格(22) 平成23年4月より、科目充実のため 「神道」「現代日本演習」の担当 者を追加(23) 平成24年4月から、科目充実のため 「キャンパス・セミナー」の担当者を追加 (24)
兼任	教授	松浦 光修 ()	平成22年4月	皇学 日本の思想						総合演習 日本人物論	平成22年4月から、科目充実のため 「総合演習」「日本人物論」の担当 者を追加(22)
兼任	教授	本澤 雅史 ()	平成22年4月	皇学 ボランティア	兼任	教授	菅野 覚明 ()	平成25年4月	皇学		平成25年4月 本澤雅史教授逝去に伴う担当者の変 更(25)
兼任	教授	松田 典祀 ()	平成22年4月	皇学	兼任	助教 准教授	中條 敦仁 ()	平成22年4月	皇学		担当予定者のやむを得ない事情によ り担当者の変更(22) 平成25年4月 准教授に昇格(25)
兼任	教授	市川 千秋 ()	平成22年4月	皇学							
兼任	教授	大島 信生 ()	平成22年4月	皇学 伝統の心と技9							
兼任	教授	井後 政晏 ()	平成22年4月	伊勢学	兼任	助教	木村 徳宏 ()	平成25年4月	伊勢学		平成25年3月 井後政晏教授辞任のため平成25年度 より担当者の変更(25)
兼任	教授	岡田 登 ()	平成22年4月	伊勢学 伝統の心と技10							
兼任	教授	深津 睦夫 ()	平成22年4月	伊勢学							
兼任	教授	半田 美永 ()	平成22年4月	伊勢学							
兼任	教授	上野 秀治 ()	平成22年4月	伊勢学							
兼任	教授	高倉 一紀 ()	平成22年4月	伊勢学							
兼任	学長	伴 五十嗣郎 ()	平成22年4月	伊勢学	教授					神道	平成23年4月 学長交代及び学舎統合 に伴い、担当科目変更(23) 平成25年3月 伴 五十嗣郎教授停年退職。「神道」 は他に担当者が3名いるため支障な し。(25)

兼担	教授	豊住 誠 ()	平成22年4月	英語資格A 英語資格B 英語資格C 外国語 インターンシップ ボランティア							
兼担	教授	山田 やす子 ()	平成22年4月	ドイツ語 ドイツ語 ドイツ語 ドイツ語 言語学							
兼担	教授	白山 芳太郎 ()	平成22年4月	神道							
兼担	教授	清水 潔 ()	平成22年4月	日本の歴史		学長			日本の歴史 伊勢学	平成23年4月 学長交代及び学舎統合に伴い、「伊勢学」の担当を追加(23)	
					兼担	教授	岡野 友彦 ()	平成24年4月	日本の歴史	平成24年4月 「日本の歴史」の担当者変更(24)	
兼担	教授	森 真一 ()	平成22年4月	社会学入門	兼任	講師	吹上 裕樹 ()	平成25年4月	社会学入門	平成25年4月 担当者のやむを得ない事情により担当 者の変更(25)	
兼担	教授	宮城洋一郎 ()	平成23年4月	人権論 社会福祉発達史	兼任	講師	宮城洋一郎 ()	平成25年4月	人権論 社会福祉発達史	平成25年3月 宮城洋一郎教授停年退職後、平成25 年度より兼任講師として再任用 (25)	
兼担	教授	外山 秀一 ()	平成22年4月	環境地理学 自然地理学 地域情報論							
兼担	教授	増井 節郎 ()	平成22年4月	武道 武道 武道 武道	兼担	助教	佐藤 武尊 ()	平成24年4月	武道 武道 武道 武道	平成24年3月 増井節郎教授辞任のため平成24年度 より担当者の変更(24)	
兼担	教授	大串兎紀夫 ()	平成24年4月	生涯学習概論		兼任	講師	宮崎 冴子 ()	平成24年4月	生涯学習概論	平成22年3月 大串兎紀夫教授辞任のため平成22年 度より担当者の変更(22)
					兼任	講師	萩原 雅也 ()	平成24年4月	生涯学習概論	平成24年3月 宮崎冴子講師が担当辞任のため平成 24年度より担当者変更(24)	
兼担	教授	中村 哲夫 ()	平成23年4月	ボランティア							
兼担	教授	岡野 友彦 ()	平成23年4月	日本歴史論	兼担	准教授	谷口 裕信 ()	平成24年4月	日本歴史論	平成24年4月 担当者の変更(24)	
兼担	教授	川添 裕 ()	平成24年4月	日本芸能論		兼任	講師				平成22年3月 川添裕教授辞任のため、兼任として科目担 当予定(22)
					兼担	准教授	岩崎 正彌 ()	平成24年4月	日本芸能論	平成24年3月 川添裕講師担当辞任のため、 平成24年度より担当者変更(24)	
兼担	教授	櫻井 治男 ()	平成25年4月	日本宗教概説							
兼担	教授	上久保達夫 ()	平成22年4月	地域社会論							
					兼担	教授	池田 久代 ()	平成22年4月	英語基礎 英語基礎 英語コミュニケーション 英語コミュニケーション	平成22年4月から、科目充実のため担 当者を追加(22)	
					兼担	教授	児玉 玲子 ()	平成22年4月	英語基礎 英語基礎 英語コミュニケーション 英語コミュニケーション	平成22年4月から、科目充実のため担 当者を追加(22)	
兼担	准教授	松本 丘 ()	平成22年4月	皇学		教授			神道	平成25年4月 教授に昇格(25) 平成24年4月から科目充実のため「神 道」の担当者を追加(24)	
兼担	准教授	中川 照将 ()	平成22年4月	皇学 古文 古文 日本の文学	兼担	准教授	三品 理絵 ()	平成24年4月	日本の文学	平成24年4月 担当科目数の調整のため「日本の文 学」の担当者変更(25) 昨年度報告漏れ	

兼担	准教授	川村 一代 ()	平成22年4月	皇学 基礎英語 基礎英語 英語コミュニケーション 英語コミュニケーション	兼担 教授	児玉 玲子 ()	平成25年4月	皇学	平成25年4月 担当科目数の調整のため「皇学」の 担当者変更(25)
兼担	准教授	齋藤 平 ()	平成22年4月	伊勢学 ビジネス実践論	教授				平成25年4月 教授に昇格(25)
兼担	准教授	張 磊 ()	平成22年4月	情報処理 (基礎) 情報処理 (応用)	教授				平成22年4月 現任の社会福祉学部にて 昇格(22)
兼担	准教授	ジョン・ダイクス ()	平成22年4月	英語コミュニケーション 英語コミュニケーション 英会話 英会話					
兼担	准教授	渡邊 毅 ()	平成22年4月	現代と教育 日本人物論					平成25年4月 履修希望者少数のため「総合演習」 のクラス数を削減(25) 総合演習 平成22年4月から、科目充実のため担 当者を追加(22)
兼担	准教授	杉野 裕子 ()	平成22年4月	数学					
兼担	准教授	中松 豊 ()	平成22年4月	生物学 自然科学史					
兼担	准教授	上小倉一志 ()	平成23年4月	書道 書道					
兼担	准教授	田浦 雅徳 ()	平成23年4月	インターンシップ	教授				平成22年4月 現任の文学部にて昇格 (22)
兼担	講師	多田 實道 ()	平成22年4月	皇学	専 教授	笠原 正嗣 ()	平成23年4月	インターンシップ	平成23年4月 就職委員長担当科目のため、委員長 交代により担当者変更(23)
兼担	講師	松下 道信 ()	平成22年4月	漢文 漢文 外国語 世界の思想	准教授				平成24年4月 准教授に昇格(24) 中国語 中国語 中国語 中国語 平成25年4月 科目充実のため担当者を追加(25)
兼担	講師	前田 至剛 ()	平成22年4月	情報処理 (基礎) 情報処理 (応用) 情報処理 (ネットワ ーク) 情報処理 (プログラ ミング)	兼担 教授	張 磊 ()	平成23年4月	情報処理 (基礎) 情報処理 (応用) 情報処理 (ネットワ ーク) 情報処理 (プログラ ミング)	平成25年4月 前田至剛講師が准教授に 昇格(25) 平成23年4月から、学舎 統合に伴い担当科目変更 (23)
兼担	助教	大平 和典 ()	平成22年4月	伊勢学					
兼担	助教	上野 文枝 ()	平成23年4月	児童・家庭福祉論 スクールソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク実習 スクールソーシャルワーク演習	専 助教	上野 文枝 ()	平成25年4月	社会福祉援助技術現場実習指 導 (事前指導) 社会福祉援助技術現場実習指 導 (事後指導) 現代日本演習	平成25年4月 社会福祉学部より移籍 (25) 平成24年4月から、科目充実のため担 当者を追加(24) 平成25年4月 科目充実のため担当者を追加(25)
兼任	講師	加藤 十八 ()	平成22年4月	皇学	兼担 准教授	渡邊 毅 ()	平成24年4月	皇学	平成24年3月 加藤十八講師辞任のため 平成24年度より担当者変更(24)
兼任	講師	勝岡 寛次 ()	平成22年4月	皇学					

兼任	講師	田中 英道 ()	平成22年4月	皇学							
兼任	講師	渡部 年晴 ()	平成22年4月	皇学							
兼任	講師	西山嘉代子 ()	平成22年4月	皇学	兼任	教授	錦 かよ子 ()	平成22年4月	皇学		平成22年4月 兼任教員新規採用のため 担当者変更(22)
兼任	講師	本間 一誠 ()	平成22年4月	皇学							
兼任	講師	西根 清美 ()	平成22年4月	伊勢学							
兼任	講師	西村 尚美 ()	平成22年4月	伊勢学							
兼任	講師	森下 隆生 ()	平成22年4月	伊勢学	兼任	講師	鈴木 健一 ()	平成22年4月	伊勢学		平成22年4月 伊勢市長交代のため 平成22年度より担当者変更(22)
兼任	講師	小野 達哉 ()	平成22年4月	漢文 漢文							
兼任	講師	永瀬 伊織 ()	平成22年4月	漢文 漢文							
兼任	講師	宇田 紀之 ()	平成22年4月	情報処理 (基礎) 情報処理 (応用)	兼任	教授	張 磊 ()	平成25年4月	情報処理 (基礎) 情報処理 (応用)		平成25年4月 科目充実のため専任に担当者変更 (25)
					兼任	准教授	前田 至剛 ()	平成25年4月	情報処理 (基礎) 情報処理 (応用)		
兼任	講師	田畑 忍 ()	平成22年4月	情報処理 (基礎) 情報処理 (応用)	兼任	講師	王 秀嵩 ()	平成25年4月	情報処理 (基礎) 情報処理 (応用)		平成25年4月 田畑忍講師が担当辞退のため担当者 変更(25)
					兼任	講師	吹上 裕樹 ()	平成25年4月	情報処理 (基礎) 情報処理 (応用)		
					兼任	講師	村田 まゆ ()	平成25年4月	情報処理 (基礎) 情報処理 (応用)		
兼任	講師	伊藤ひさみ ()	平成22年4月	英語基礎 英語基礎 英語コミュニケーション 英語コミュニケーション 英語総合 英語総合					英語基礎 英語基礎 英語コミュニケーション 英語コミュニケーション 英語資格対策 英語資格対策		科目担当を「英語総合」から「英語 資格対策」に変更(22)
兼任	講師	折原真希子 ()	平成22年4月	英語基礎 英語基礎 英語コミュニケーション 英語コミュニケーション							
兼任	講師	駒田ゆき子 ()	平成22年4月	英語基礎 英語基礎					英語コミュニケーション 英語コミュニケーション		平成25年4月 英語科目担当者の再編のため担当者 変更(25)
兼任	講師	巽 幸政 ()	平成22年4月	英語基礎 英語基礎	兼任	講師	駒田ゆき子 ()	平成25年4月	英語基礎 英語基礎		平成25年3月 巽幸政講師逝去のため平成25年度よ り担当者変更(25)
兼任	講師	西尾 吉成 ()	平成22年4月	英語基礎 英語基礎 英語コミュニケーション 英語コミュニケーション	兼任	講師	岡本 裕子 ()	平成25年4月	英語基礎 英語基礎 英語コミュニケーション 英語コミュニケーション		平成25年3月 西尾吉成講師担当辞退のため平成25 年度より担当者変更(25)
兼任	講師	山川 茂俊 ()	平成22年4月	英語基礎 英語基礎 英語コミュニケーション 英語コミュニケーション							
兼任	講師	楠田 英子 ()	平成22年4月	英語コミュニケーション 英語コミュニケーション 英語資格対策 英語資格対策					英語コミュニケーション 英語コミュニケーション 英語総合— 英語総合— 英語基礎 英語基礎	英語関連共通科目の担当科目配分を 変更(22) 平成23年4月から、科目のクラス数再 編のため担当科目追加(23) 平成25年4月 英語科目担当者の再編のため担当者 変更(25)	
兼任	講師	橋爪 仙彦 ()	平成22年4月	英語コミュニケーション 英語コミュニケーション							
兼任	講師	マルティン・ゴン ・イイ ()	平成22年4月	英語コミュニケーション 英語コミュニケーション 英会話 英会話	兼任	講師	ザミル・アネリ ()	平成22年4月	英語コミュニケーション 英語コミュニケーション 英会話 英会話		平成22年3月 マルティン・ゴン・イイ講師担当辞退のため平成 22年度より担当者変更(22)
					兼任	講師	マルティン・アネリ ・ジエ ()	平成24年4月	英語コミュニケーション 英語コミュニケーション 英会話 英会話		平成24年3月 ザミル・アネリ講師辞任のため 平成24年度より担当者変更(24)
兼任	講師	青木 幸美 ()	平成22年4月	フランス語 フランス語 フランス語 フランス語							

兼任	講師	伊達Iring' 幸江 ()	平成22年4月	ポルトガル語 ポルトガル語 ポルトガル語 ポルトガル語						
兼任	講師	高 潤生 ()	平成22年4月	中国語 中国語 中国語 中国語						
兼任	講師	古坂 紘一 ()	平成22年4月	哲学	兼任	講師	遠山 敦 ()	平成22年4月	哲学	平成22年3月 古坂紘一講師辞任のため 平成22年度より担当者変更(22)
兼任	講師	濱千代早由美 ()	平成22年4月	日本の民俗 地域文化論	専	准教授	板井 正斉 ()	平成25年4月	日本の民俗 地域文化論	平成25年4月 科目充実のため専任に担当者変更 (25)
兼任	講師	奥田 泰広 ()	平成22年4月	世界の歴史 日本外交論 国際政治論	兼任	講師	大野 直樹 ()	平成23年4月 平成24年4月	日本外交論 国際政治論 世界の歴史 国際政治論	平成23年4月 担当講師 の都合により一部担当者 変更(23)
兼任	講師	久野 潤 ()	平成24年4月	日本外交論	兼任	講師	久野 潤 ()	平成24年4月	日本外交論	平成24年3月 奥田泰広講師辞任のため 平成24年度より担当者変更(24)
兼任	講師	島 義博 ()	平成22年4月	経済学入門 統計学入門 起業論						
兼任	講師	原田 華 ()	平成22年4月	心理学入門	兼任	講師	斎藤 文 ()	平成22年4月	心理学入門	平成22年3月 原田華講師担当辞退のため 担当者変更(22)
兼任	講師	樋廻 博重 ()	平成22年4月	現代と健康						
兼任	講師	田村 圭司 ()	平成22年4月	現代の課題 日本マスコミ論						
兼任	講師	吉澤 雅之 ()	平成22年4月	現代の課題						
兼任	講師	野本 建雄 ()	平成22年4月	化学						
兼任	講師	内田 富儀 ()	平成22年4月	物理学						
兼任	講師	為永 辰郎 ()	平成22年4月	天文学	兼任	講師	伊藤 信成 ()	平成22年4月	天文学	平成22年3月 為永辰郎講師辞任のため 平成22年度より担当者変更(22)
兼任	講師	川口 正人 ()	平成22年4月	武道 武道	兼任	講師	口川 孝男 ()	平成23年4月	武道 武道	平成23年3月 川口正人講師辞任のため 平成23年度より担当者変更(24) 前年度報告漏れ
兼任	講師	福田 啓子 ()	平成22年4月	武道 武道 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習						
兼任	講師	岡野 央 ()	平成23年4月	書道 書道						
兼任	講師	庄田 昭人 ()	平成23年4月	書道 書道						
兼任	講師	堀田 明美 ()	平成22年4月	伝統の心と技1 伝統の心と技12	兼任	講師	得能 弘一 ()	平成22年4月	伝統の心と技12	平成22年4月 担当者の都合により「伝統の心と技 12」の担当者変更(22)
兼任	講師	浅沼 博 ()	平成22年4月	伝統の心と技2 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習		教授				平成22年4月より 特別招聘教授に就任のため (22)
兼任	講師	山中ちえの ()	平成22年4月	伝統の心と技2	兼任	講師	山本 幸美 ()	平成23年4月	伝統の心と技2	平成23年3月 山中ちえの講師担当辞退のため平成 23年度より担当者変更(25) 報告漏れ
兼任	講師	奥野 昌子 ()	平成22年4月	伝統の心と技2						
兼任	講師	高林 皓二 ()	平成22年4月	伝統の心と技3						

兼任	講師	観世 喜正 ()	平成22年4月	伝統の心と技3						
兼任	講師	観世 喜之 ()	平成22年4月	伝統の心と技3						平成23年3月にて退任 「伝統の心と技3」は、他に担当者が いるため支障なし(23)
兼任	講師	飛騨 大富 ()	平成22年4月	伝統の心と技5 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習						
兼任	講師	川上 昭光 ()	平成22年4月	伝統の心と技7						
兼任	講師	松藤 司 ()	平成22年4月	伝統の心と技8						
兼任	講師	岡野 弘彦 ()	平成22年4月	伝統の心と技9						
兼任	講師	中村 立夫 ()	平成22年4月	伝統の心と技11						
兼任	講師	大島 謙 ()	平成23年4月	人生と仕事	兼任	教授	須田 寛 ()	平成23年4月	人生と仕事 現代の課題 産業観光論	平成22年3月 「人生と仕事」の大島講師が担当辞退の ため担当予定者を変更— 「現代の課題」は科目充実のため平成22年 度より担当者を追加 (22) 平成23年4月から、教育課程充実のため 「産業観光論」を追加(23)
					兼任	教授	田浦 雅徳 ()	平成23年4月	人生と仕事	平成23年4月から 「人生と仕事」の科目内容変更のため担当 者を変更(23)
					兼任	教授	外山 秀一 ()	平成23年4月	人生と仕事	
					専	教授	笠原 正嗣 ()	平成25年4月	人生と仕事	平成25年4月 「人生と仕事」の担当者を外山秀一教授か ら変更(25)
					兼任	講師	河合 潔 ()	平成23年4月	現代の課題	平成23年4月から 「現代の課題」の1クラスを三重県警が担 当するため担当者を変更(23) 平成24年4月 三重県警の人事異動により担当者変更を検 討中(24) 開講学期は後期(秋学期)に変更 平成24年9月 三重県警の人事異動により担当者変更 (25)
					兼任	講師	天白 修一 ()	平成23年4月	現代の課題	
					兼任	講師	藤井 淳夫 ()	平成23年4月	現代の課題	
					兼任	講師	栃木 新一 ()	平成23年4月	現代の課題	
					兼任	講師	宮崎 由司 ()	平成23年4月	現代の課題	
					兼任	講師	中根 英二 ()	平成23年4月	現代の課題	
					兼任	講師	後藤 善信 ()	平成23年4月	現代の課題	
					兼任	講師	斉藤 実 ()	平成24年9月	現代の課題	
					兼任	講師	稲葉 幸弘 ()	平成24年9月	現代の課題	
					兼任	講師	大西 康彦 ()	平成24年9月	現代の課題	
兼任	講師	嶋田 和也 ()	平成24年9月	現代の課題						
兼任	講師	水谷 裕考 ()	平成24年9月	現代の課題						

兼任 講師 山下 数奈
() 平成23年4月 ビジネス実践論

兼任 講師 岩佐 政徳
() 平成23年4月 ビジネス実践論

兼任 講師 山出公一郎
() 平成23年4月 ビジネス実践論

兼任 講師 井上 雅平
() 平成23年4月 ビジネス実践論

兼任 講師 岡田美千絵
() 平成23年4月 ビジネス実践論

兼任 講師 野間 紀子
() 平成23年4月 ビジネス実践論

兼任	講師	岩崎 利彦 ()	平成23年4月	社会保障論 公的扶助論 福祉行財政と福祉 計画	兼任	講師	長友 薫輝 ()	平成23年4月	社会保障論	平成25年4月 上野文枝助教が社会福祉学部より移 籍(25)
					兼任	助教	上野 文枝 ()	平成23年4月	公的扶助論	平成23年3月 岩崎利彦講師が担当辞退のため、平 成23年度より担当者変更(23) (「福祉行財政と福祉計画」は平成 25年度開講科目のため、担当者を検 討中)
							後任未定		福祉行財政と 福祉計画	
					専	教授	山路 克文 ()	平成24年4月	福祉行財政と 福祉計画	平成24年4月 後任決定のため担当者変更(24)
兼任	講師	栗原 剛 ()	平成23年4月	日本倫理思想史	兼任	講師	遠山 敦 ()	平成24年4月	日本倫理思想史	平成24年3月 栗原剛講師が辞任のため平成24年度 より担当者変更(24)
					兼任	教授	菅野 覚明 ()	平成25年4月	日本倫理思想史	平成25年4月 菅野覚明教授が神道学科に就任のた め平成25年度より担当者変更(25)
兼任	講師	笠谷和比古 ()	平成24年4月	武士道論						
兼任	講師	池田 曜子 ()	平成22年4月	心理学						
兼任	講師	小谷 裕実 ()	平成23年4月	医学概論	専	准教授	野尻 京子 ()	平成23年4月	医学概論	平成23年3月 小谷裕実講師が担当辞退のため、平 成23年度より担当者変更(23)
兼任	講師	崎山 忍 ()	平成23年4月	精神医学 精神保健学	兼任	講師	山崎 正 ()	平成23年4月	精神医学 精神保健学	平成23年3月 崎山忍講師が担当辞退のため、平成 23年度より担当者変更(23)
					兼任	講師	若林 恵子 ()	平成24年4月	精神保健学	平成24年3月 山崎正講師が一部科目の担当辞退の ため、平成24年度より担当者変更 (24)
兼任	講師	植田 寿之 ()	平成22年4月	社会福祉援助技術 論(専門職制度)						
兼任	講師	成田すみれ ()	平成23年4月	リハビリテーション論						
兼任	講師	片岡千都子 ()	平成24年4月	医療福祉論	兼任	講師	畑中 寿美 ()	平成25年4月	医療福祉論	平成25年3月 片岡千都子講師が担当辞退のため平 成25年度より担当者変更(25)
兼任	講師	山形 力生 ()	平成24年4月	精神科リハビリテー ション論	兼任	講師	川下 維新 ()	平成24年4月	精神科リハビリテー ション論	平成24年3月 山形力生講師が担当辞退のため、平 成24年度より担当者変更(24)
									精神保健福祉援助 実習	平成24年4月より、科目充実のため担 当者追加(24)
									精神科リハビリテー ション論(定義と基本原則) 精神科リハビリテー ション論(モデルとプロセス) 精神保健福祉援助実習指 導(事前指導) 精神保健福祉援助実習指 導(実習計画作成) 精神保健福祉援助実習指 導(事後指導)	平成24年4月より、精神保健福祉法改 正によるカリキュラム改定のため科 目の変更・追加(24)
					兼任	講師	齊藤 由美 ()	平成25年4月	精神科リハビリテー ション論 精神科リハビリテー ション論(定義と基本原 則) 精神科リハビリテー ション論(モデルとプロセ ス)	平成25年3月 川下維新講師が担当辞退のため、平 成25年度より担当者変更(25) 他の科目は他に専任の担当者がい るため支障なし
兼任	講師	磯前 秀二 ()	平成23年4月	日本経済論 経済政策論 農業政策論		講師	平児慎太郎 ()	平成24年4月	日本経済論 経済政策論	平成24年3月 磯前秀二講師が一部科目の担当辞 退のため平成24年度より担当者変 更(24)
									農業政策論	
					兼任	講師	島 義博 ()	平成25年4月	日本経済論 経済政策論	平成25年3月 磯前秀二講師が担当辞退のため平 成25年度より担当者変更(25)
兼任	講師	鈴木 英敬 ()	平成24年4月	公共政策論 地方財政論	兼任	講師	青山 俊樹 ()	平成24年4月	公共政策論 地方財政論	平成24年3月 鈴木英敬講師が担当辞退のため、平 成24年度より担当者変更(24)
兼任	講師	武田 秀一 ()	平成24年4月	コミュニケーション論						

兼任	講師	七野 敬光 ()	平成24年4月	権利擁護と成年後見制度	専 教授	鵜沼 憲晴 ()	平成24年4月	権利擁護と成年後見制度	平成23年4月の学舎統合に伴い、専任に担当者を変更(23)
兼任	講師	小笠原清忠 ()	平成23年4月	文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習					
					兼任 教授	植芝 守央 ()	平成22年4月	武道 武道 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習	平成22年4月より、科目充実のため担当者追加(23) 昨年度記載漏れ
					兼任 講師	小谷 佑一 ()	平成23年4月	武道 武道 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習	平成23年4月より、科目充実のため担当者追加(23)
					兼任 講師	大辻 隆弘 ()	平成23年4月	文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習 文化継承実習	平成23年4月より、科目充実のため担当者追加(23)
					兼任 講師	野呂 俊文 ()	平成24年4月	英語基礎 英語基礎	平成24年4月より、科目充実のため担当者追加(24)

- (注)・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、学部 学科 の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年 月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「年 月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
7	9	1	0	17	11	6	0	1	18	65	1
(5)	(1)	(0)	(0)	(6)	[4]	[3]	[1]	[1]	[1]	歳	名

- (注)・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合： 1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1		該当なし	
2			
3			

(注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (24年2月)	文学部国文学科の入学定員超過の是正に努めること。	平成23年度の国文学科入学者は歩留まりの予測を誤ったために111名となり、単年度の定員超過率は1.38であったが、平成24年度の入学者は合格者数を抑えた結果、85名であったため、単年度の定員超過率は1.06、過去4年間の定員超過率も1.33から1.22へと大幅に改善することができた。	
設置計画履行状況 調 査 時 (25年2月)	該当なし		

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

< 現代日本社会学部 現代日本社会学科 >

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
	1～6での事項以外に、特に変更なし

- (注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>授業改善・教員の資質向上に関しては、本学に附置されている教育開発センターを中心にして取り組む。本学の教育開発センターは、学長を中心とするセンター運営委員会において教育方法とその検証についての基本方針を策定し、それを受けたセンター長がセンター委員で構成されたセンター会議において方針を具体化し、実施に移すという体制を整えている。さらに、通常の授業体制で補いきれない学習支援については、教育開発センター内に置かれた学習支援室において対応する。</p> <p>教育開発センターは、入学準備プログラム・カリキュラム開発・補習授業などの基本方針を策定し（plan）、それに基づいて各学部・各学科において授業を具体化する（do）、その検証は授業評価アンケートやプレースメントテスト（国語・英語など基礎学力向上の検証）を活用して検証する（check）。その検証結果に対しては、センター会議において改善方法を策定し、センター運営会議の承認を得たのち各学部・各学科に次年度に向けての改善計画（action）を指示する。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>【教育開発センター会議】 平成24年度実績：年間13回開催。委員12名のうち、9名が教員。</p> <p>【教育開発センター運営委員会】 平成24年度実績：年間8回開催。委員12名のうち、10名が教員。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>【教育開発センター運営委員会】 教育開発センターの事業に関する事項 教育開発センター教員の人事に関する事項 その他センターの運営に関して必要な事項</p> <p>【教育開発センター会議】 本学の教育力を向上させるための教育システムの企画・開発 教育内容・方法を改善するための企画と教職員の研修支援 教育効果の評価方法の研究・開発とその実施 教育活動の支援体制の整備 共通教育の企画・開発及びその運営 その他目的を達成するために必要な事項</p> <p>実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法についての研究会 ・ FD講演会 ・ ICT活用教育講習会 ・ 学外のFD関連フォーラム等への教職員派遣 ・ 授業評価アンケート ・ 卒業時アンケート ・ 新任教員のための研修会 等
--

b 実施方法

- ・ 授業方法についての研究会
外部講師によるファシリテーションの教育と実践についての研修会を実施。
- ・ F D 講演会
先進的な F D 活動に取り組む大学等より講師を招聘し、教職員を対象に実施。
- ・ ICT活用教育講習会
平成21年度から導入したMoodle（授業支援システム）の使用法について講習会を実施。
平成22年度から導入したAuto-Rec（撮影授業追尾型自動編集システム）の活用について講習会を実施。
平成23年度から導入したmanaba folio（eポートフォリオシステム）の使用法について講習会を実施。
- ・ 学外の F D 関連フォーラム等への教職員派遣
特定の人員に偏らないように配慮して、多数の教職員を種々の講演会等に派遣。
- ・ 卒業時アンケート
卒業論文・卒業研究口頭試問終了後、学生生活及び教学についての満足度に関するアンケートを実施。
- ・ 初任者研修会
年度の初めに、新任教員に対して、本学の建学の精神への理解及び教育方針共有を目的として実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業方法についての研究会
平成24年度は実施せず。
- ・ F D 講演会（平成24年度実績）
3回開催。出席教職員数：延べ45名。
- ・ ICT活用教育講習会（平成24年度実績）
2回開催。出席教員数：延べ40名。
- ・ 学外の F D 関連フォーラム等への教職員派遣（平成24年度実績）
11種類の講演会等に参加。参加教職員数：延べ11名。
- ・ 卒業時アンケート（平成24年度実績）
卒業時に実施。（546名）
- ・ 初任者研修会（平成24年度実績）
年度の初めに、新任教員2名に対して実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ F D 講演会「人文系大学院の教育改革－学位プログラムの確立に向けて－」、「PBL（問題解決型学習）とはどのようなものか」及び「日本語表現」科目における実践とその効果 - 大学での 学修 に必要な日本語運用能力向上のために－」を開催し、本学授業での課題解決能力向上や、本学学生の日本語能力向上などもふまえた授業改善についての研修を行った。
- ・ 卒業時アンケートの集計結果は、教育開発センターにおいて集計・分析をおこない、教授会に対して結果の公表及び改善のための検討を依頼した。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期末において、受講者数5名以上の授業を対象に実施。（春学期：638科目 秋学期：611科目）

b 教員や学生への公開状況，方法等

アンケート結果に担当教員のコメントを付した上で、大学学内ホームページ上において公開。
また、冊子型報告書を作成し、本学図書館において閲覧可能とする。

（注）・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部は、「日本の文化」「現代の社会」「生活と福祉」の三分野についての教育を核として、現代日本社会の諸問題に主体的、創造的に対応し、各領域においてリーダーとして貢献できる職業人養成を目的としている。

本年度は完成年度となる。開設3年目に当たる昨年度は、「日本の文化」「現代の社会」「生活と福祉」の三分野において、基幹科目、展開科目、発展科目、実習科目、演習科目に配当されている5・6セメスターの科目を、予定通り開講した。この結果、日本の文化の特徴とその現代的意義を理解させるとともに、礼儀や徳の重要性を認識させるという「日本の文化」分野の目的、現代日本社会の諸問題を正確に理解し、分析するための学問的素養を身につけさせるという「現代の社会」分野の目的、今日日本で求められている他人を思いやる心や支えるための知識と技能を養うという「生活と福祉」分野の目的、それらの達成にむけて着実に歩みを進めることができたと思われる。

特に5・6セメスターで開講した「現代日本演習」では、学生は昨年履修した「現代日本演習」で学んだリーダーシップ論の基礎の上に、担当教員ごとに別れ、将来の職業と研究したい現代の課題とを融合させる学びに取り組んだ。その際の研究分野は、「政治経済」「地域社会」「福祉計画・社会福祉」「伝統文化」の四領域に大別した。本年度は四年生のために、「卒業研究」演習が開講され、学生は、諸分野の学びを通じて養われた知性と技能を融合し、そこから生まれる創造力によって、現代日本社会の諸問題の解決策を考え、実践する能力を習得するとともに、志をもって自らの人生を考え、歩む姿勢を身につけるといふ本学部の目的を最終的に達成する段階に入る。

自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成22年4月12日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を大学公式ホームページ上に公開（平成22年4月12日）

認証評価を受ける計画

- ・平成21（2009）年度に、財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受け、審査の結果、平成22（2010）年3月12日付けで、同協会の定める大学基準に「適合」しているとの認定を受けた。
- ・平成28年度に評価機関（財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成25年 6月 30日)